



梅（上揚・坂本梅林）

うたごよみ 一 弥生 一

〔短歌〕

渡辺幸士 選

友と行く線路の跡の懐かしく今は草覆う山路
となれり
白梅 武人

続け居る神社参りの元旦に知人と逢えて嬉し
さも増す
上村やす美

梅林の香り漂う谷尾崎春の足音はや聞こえ来
る
吉永由紀子

満月に亡夫と手合せ穏やかに暮らせますよう
祈った日思う
赤星 文子

年毎に一人二人と減ってゆく賀状見るのもこ
ころ寂しき
池田キヨ子

独り旅したことも無きわが夫は帰る事なき旅
に出かける
塚原 暁益

調理機が終りの合図知らせて「今行きま
す」と重い腰上ぐ
内田乃武子

一面に咲く水仙の可憐さに心癒され春を待つ
日々
緒方 明美

空も雲も海もわが身も赤々と天草灘の入り日
に染まる
渡辺 幸士

〔川柳〕

渡辺幸士 選

〔系〕

糸切れた風の行方が案じられ
針の穴通してホッと母の顔
林 雅之
日隈 俊郎

〔せっかち〕

せっかちでエスカレーター駆け上る
入院と聞いて香典用意する
信号の黄にせっかち試される
清川みどり
川村 文子
渡辺 幸士

〔肥後狂句〕

北川直美 選

ふるさに 母の好んだ紫苑咲く 広田みどり
ふるさに 心許せる友の居る 下山 千恵
ふるさに 錦飾れど父母もなく 志垣 光
ふるさに 帰ってみれば変り果て 佐藤 葵
ふるさに 出世出来んと帰られん 平井やよい
ふるさに 凱旋上ぐるなおみ節 長原 産賀
ふるさに 静かに眠る先祖様 佐野 京
ふるさに 肩書捨てて心地よか 光永 六
ふるさに トンボ返りのクラス会 井元あざみ
ふるさに 帰省の土産買い揃え 日高 美里
ふるさに 納税したら肉もろた 上田 梅清
ふるさに お灸ん如たる友の声 日隈 元良
ふるさに 埋めて欲しかて書き遣し 北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
096・234・2447（内線321）

ひとの動き (敬称略)

1月11日(金)～2月10日(日)

birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
南三箇	鳴川 蘭	女	愛華
下横田	村田 脩弥	男	全弥

marriage ご結婚おめでとう

住所	氏名
〔夫〕 早川 宮崎 慎司	
〔妻〕 熊本市 鏡 陽子	
〔夫〕 あさぎり町 西 浩伸	
〔妻〕 有安 赤星 恵弥	
〔夫〕 岩下 西川 直樹	
〔妻〕 芝原 渡邊 瞳	

condolence お悔やみ申し上げます

住所	氏名	年齢	世帯主
府領	野々口敏男	85	トキエ
下横田	緒方 憲美	71	礼子
下横田	井芹 授子	94	授子
芝原	中林 政繼	92	政裕
白旗	本田登輝光	85	登輝光
早川	溜淵 孝子	87	孝子
世持	上田ミサ子	83	敏治
白旗	渡邊 婦子	88	昭弘
仁田子	曾我 政吉	97	政吉

data 甲佐町の人口・世帯数

項目	数	増減
男	5,049	△5
女	5,605	6
計	10,654	1
世帯数	4,269	3

平成31年1月31日現在

こうさの野菜で作ってみよう!

しじみ提供：料理研究家 沼田峰子さん(北原区)



春野菜を味わいましょう

ご存知ですか？

店先でつキノトウを見かけたら、「あ～春が来たなあ」とウキウキした気持ちになりませんか。そのほかにもタラの芽・つキノ・アスパラ菜・菜の花などがあります。

春野菜や春の山菜はどれもみずみずしく鮮やかな緑が特徴です。特に目を見張るような栄養は期待できませんが、“春”を肌で感じてください。

だからこそ摘んだらすぐによく洗い、早めに調理します。そして、水はさらさらした方がよい物もあります。苦みやえぐみがあるからです。春を味わうためには濃い味付けを避け、薄味でいただきたいですね。



作り方

- ①アスパラ菜は、鍋にたっぷりの湯を沸かし1分茹でます。
- ②茎がまだ少し固いかな？と思うくらいで大丈夫です。茹で上がったらずぐ冷たい水にとります。
- ③しばらく水にさらしてからザルにとり水を切ります。
- ④③をもう一度しっかり絞って塩を振ります。これをラップで包み冷蔵庫で冷やしておきます。
- ⑤食べる直前にラップごと絞り、4～5割に切り揃えます。しょう油やポン酢、ドレッシングなど好みの味付けでどうぞ。

材料

アスパラ菜……………1束
塩……………ふたつまみ

現代は、どんなことでも昔に比べて短時間で効率よくできるようになり、その分自由な時間も増えました。今の便利で豊かな暮らしは、先人の知恵と工夫の上に成り立っているのだと改めて気付きました。(り)

編集後記

乙女小で行われた民具体験学習では、児童が民具を使って昔の洗濯を体験しました。てんびん棒で水を運んだ後、「軽かった!」と声を上げた児童たちですが、子どもたちが1キ、2キと長い道のりを時間をかけて運んでいたことを聞き、「えっ!」と驚いていました。

洗濯板を使用しての洗濯では、力いっぱい勢いよくゴシゴシしたり、丁寧に洗ったりしました。タオルが大きく、なかなか絞れずに苦戦することも。家族全員分の洗濯に、どれくらいの時間や労力が掛かっていたかをみんなでも考えました。

現代は、どんなことでも昔に比べて短時間で効率よくできるようになり、その分自由な時間も増えました。今の便利で豊かな暮らしは、先人の知恵と工夫の上に成り立っているのだと改めて気付きました。(り)